

平成24年11月9日発行

第159号

こうふ町 議会だより

町勢

世帯数/1,125世帯

人口/3,369人

(平成24年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

23年度決算を認定…………… 2 P

決算特別委員会参考意見…………… 7 P

いっぱん質問 町政を問う…………… 10 P

私のひと言…………… 14 P



喜びの「稲こぎ」!!

平成23年度 歳出総額

51億2,972万円認定

一般会計

33億7,515万円

特別会計

17億5,457万円

昨年の豪雪と秋の台風12号による災害復旧
下水道工事の継続など必要な事業を行いな
がら、財政再建を前進!!

平成23年度9月定例会は10日招集され、会期を21日までの12日間として開かれた。
今回の定例会は平成23年度一般会計と15の特別会計の決算を審議した。
町長からの提出議案31件は慎重審議し、すべて可決した。
最終日に人事案件として教育委員の宮本師子さん、清水弘美さんの任期満了に伴い、清水弘美さんは再任、前田恵子さんが新任されました。
また、江府町議会会議規則により1議案が議員発議され可決した。

一般会計

平成23年度の一般会計は、歳入総額35億8358万円、歳出総額33億7515万円、前年に比べ約15%減となった。
歳入減の主なものは、経済対策事業、情報基盤整備事業（光ファイバー網の整備）の交付金補助金の減と、地方交付税の減額によるものです。町税については、約500万円の減額でした。
歳出については、建設事業費が4億971万円となり前年対比約50%の減となりまた、維持補修費は8484万円となり前年対比34%増となりました。

- | | |
|-------------|----------|
| 費目別内訳（主なもの） | |
| 1. 公債費 | 7億5089万円 |
| 2. 総務費 | 6億1083万円 |
| 3. 民生費 | 6億3707万円 |
| 4. 衛生費 | 2億9393万円 |
| 5. 労働費 | 4229万円 |
| 6. 農林水産費 | 3億5406万円 |
| 7. 土木費 | 1億7197万円 |
| 8. 教育費 | 1億8235万円 |
| 9. 消防費 | 7651万円 |
| 10. 災害復旧費 | 6370万円 |

特別会計

平成23年度の15特別会計歳入総額18億7326万円、歳出総額17億5457万円であるが繰越金を除けば4332万円の赤字決算となった。
主な歳出

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 国民健康保険事業勘定 | 3億6921万円 |
| 2. 国民健康保険施設勘定 | 2億8931万円 |
| 3. 介護保険（保険事業勘定） | 4億9851万円 |
| 4. 簡易水道事業 | 9940万円 |
| 5. 農業集落排水事業 | 2億1780万円 |
| 6. 公共下水道事業 | 5632万円 |
| 7. 索道事業 | 6595万円 |

監査委員の審査意見

行財政改革で安心・安全で将来展望の持てるまちづくりの推進を

平成23年度江府町決算
監査に伴う行財政の実態
と問題点を総括致します。

平成18年第4次江府町
総合計画、平成19年から
10年間の公債費負担適正
化計画等により財政健全
化に努力され、財政健全
化基準の實質公債費比率
も22年度21・2%、23
年度19・6%に改善されま
した。



保育園の子ども

しかしながら、少子高
齢化による自主財源の減
少が見込まれ、福祉や医
療の経費を中心に経常経
費の増加抑制は難しく、
依存財源も不透明でもあ
り引き続き厳しい財政状
況が予想されます。

このような中、個性の
あるまちづくりをめざし、
地域の特性を活かした福
祉対策、子育て、教育の

充実、産業基盤の整備振
興、過疎対策、雇用の確
保などの政策課題を着実
に推進することが求めら
れています。

今後については、江府
町総合計画第1節透明な
行財政改革、第2節財政
基盤の確立方針に沿った
地域、住民、行政が一体と
なり将来のまちづくり
にむけPDSサイクル(P
LAN↓DO↓SEE)
等実践を行い、住民が安
心・安全で暮らせ、将来
展望の持てる江府町づく
りを推進して頂きますよ
う願います。

特別会計総括

国民健康保険会計(事
業勘定)、住宅新築資金
等貸付事業会計、簡易水
道、農業集落排水事業等
に収入未済額があります
ので、これの徴収につい
て特段の努力と時効の中
断に努められたい。

留意事項

1. 収納業務適正化に取
り組みを願いたい。
2. 滞滞債権回収を検討
されたい。
3. 公共施設の管理運営
について効率化を図ら
れたい。
4. 起債については緊急
性、重要性及び将来性
を見込んだ事業実施を
検討されたい。



環境美化(江尾地区)

決算の審査

一般会計

豪雪災害は

豪雪災害の状況はどうか。

A 申請は54件ありましたがそのうち37件の助成をしました。被害の補助金は、総額の3分の1とし最高限度額は20万円です。今回の補助金総額は333万円です。

ふるさと納税は

Q 町内にふるさと納税の新しいポスターが貼ってあり、ホームページでもアピールしているが状況はどうか。

A 職員のカメラによる地元のモデルで作ったポスターです。ホームページにも載せており好評です。ふるさと納税は今年秋より納税者に心ばかりの故郷の産物を贈るようになりました。すべに効果は期待でき

ませんが9月1日現在で36件(昨年より10件増)、金額で48万円(昨年より17万円増)になっています。



取り組みをDVDなどを使い紹介しました。指摘の通り若い人にアピールし今後江府町の発展に寄与するよう工夫していきたい。

ホームページの利用は

Q ホームページが新しくなったがその利用状況は。

A わかりやすく便利なように作り替えました。以前に比べ大幅に利用が増えています。今年9月末の段階で2万2300件の利用となっています。特に観光についての利用が多く奥大山のスキー場等若い世代に積極的にアピールする必要があります。

太陽光発電の利用は

Q 原子力発電の問題もあり、自然エネルギーに対し関心が高まっているが、太陽光発電の利用状況は。

Q 関西交流会の効果は。又若い人に積極的に案内をしては。

A 昨年は10月16日に行い江府町の現状



設置したソーラーパネル

投票所の変更は

Q 投票所が変更され選挙が行われましたがその結果について検証は。

A 選挙管理委員会では4年に1度の見直しを行うことになっていますが、次の町会議員選挙等を見て必要ならば検討したいと思います。

生活保護の状況は

Q 全国的にもこの不況の中で問題になっている生活保護の状況は。

A 平成24年3月現在で15人となっております。増加傾向にあります。そのうち、8人の方が高齢者世帯です。人口に対する全国平均は15・0人となっております。江府町の45人はまだ少ない方ですが、今後増加傾向にあると予測しています。

未収金は

Q 一般会計の未収金 過年度分1,093万円、現年度分550万円、合計1,644万円となっているが回収の状況は。

A 未納者は固定化し町税、保険税等を滞納しているケースが多くなります。回収については納税しやすいよう当人と分割の相談等を行い

納税指導を行っているところです。

緊急雇用は

Q 政府の緊急雇用対策により多くの雇用が生まれましたが、今後の状況は。

A 平成23年度は緊急雇用対策の制度により町が直接雇用した人数は15人、ふるさと雇用対策により事業者に雇用を委託したものが8人となっています。今年度については、それぞれ必要な人員を雇用し、約半数の雇用となっています。

笠原市民農園は

Q 平成5年に建設された笠原市民農園は、貸農園として運営してきたが借り手も減少し、施設の修繕費もかかるなど今後の方針を根本から見直すべきだが。

A 指摘の通り借り手の減少によりレストラン、コテージとも利用が大きく減少しています。現在の指定管理者は、来年4月に期限を迎える為、それまでに、運営審議会に諮り根本的な検討をしていきたい。

奥大山スキー場は

Q 奥大山スキー場は雪崩事故により雪崩防止対策を実施し、またその後の水道管破損等設備の不具合が生じたが、その後の状況は。

A 雪崩対策においては、雪崩防止柵や、ライプカメラの設置、パトロールの方法等安全に対する体制は整いました。また水道管破損も修理し各種機器の点検を行っています。また昨年は仮橋であった第2鳥橋の工事は、

小学校のエアコンは

Q 近年の異常な暑さで、熱中症など心配されるが小学校の教室にエアコンを設置する必要は。

A 一時期とはいえ、暑くまた蜂などの問題もあり窓を開けられない状況もあります。現在中学校の建設にあたって、各教室にエアコンの設置が検討されており、状況を見て判断していきたい。



奥大山スキー場

が行われており、今シーズンには間に合うよう予定されています。

奥大山ブランドは

Q 奥大山ブランドの状況は。

A 環境王国の認定もあり、それらを含めて検討していきたい。必要性は十分認識しており、実現に向けて努力していきたい。



投票所の変更は

Q 投票所が変更され選挙が行われましたがその結果について検証は。

A 選挙管理委員会では4年に1度の見直しを行うことになっていますが、次の町会議員選挙等を見て必要ならば検討したいと思います。

特別会計

国民健康保険 特別会計(事業勘定)

Q 現在の基金はいくらあるか。

A 平成23年度決算で約1億円の基金がありますが、平成23年度に国保会計として初めて3千万円の基金の取り崩しを行っています。

Q 国保が鳥取県で一本化されるが、広域の動きはどのように進んでいるか。

A 現在、県からの広域化に向けたアンケート調査が行われています。

今後は、東・中・西部の市町村国保代表者により調査結果に基づき検討が行われ、年度内に、素案が示されると思われます。

国民健康保険 特別会計(施設勘定)

Q 平成23年度決算で約1億4千2百万円。平成23年度に約4千百万円を積み立てたが。

A 診療所(医科)を2名体制にしたいと考えています。

Q 前年度と比較して診療報酬が若干減少しているが、その理由は。

A 歯科において、平成23年6月から鳥取大学の事情により週3人の医師派遣が2人となり、診療報酬が減少しました。



介護保険特別会計 (保険事業勘定)

Q 介護保険の現在の状況と課題は何か。

A 現在介護認定率が20パーセントを超え、介護保険制度が始まった平成12年度と比較すると2倍に増加し、介護サービス利用者が増加しています。

課題は通所サービスのデイ・サービス及びデイ・ケアが増加し、施設としての許容範囲を超える時もあり、今後の対応を検討する必要があると考えます。

次に認知症の方が増加傾向にあり、そのような方々の居場所づくり、そして予防対策が必要であると考えます。

簡易水道事業 特別会計

Q 料金改定について。

A 前回平成19年度に公共料金の見直しを行い、平成20年度から料金の値上げを行いました。

本年度が見直しの年であり、公共料金見直し委員会での公共料金を含めて検討します。

農業集落排水事業 特別会計

Q 川筋地区農業集落排水と公共下水道の事業統合についてその状況は。

A 昨年度農業集落排水事業で機能診断を行い、今年度それを元に修繕計画の策定を行います。その中で統合を検討します。



認知症教室 (尾之上原)

決算特別委員会

参考意見

一般会計

江府町の平成23年度一般会計決算は、35億8300万円であり前年対比85・4%となっております。この減少の主なもの光ケーブルの約6億円です。平成23年度は実質単年度収支が約5400万円となっており財政健全化に向け努力したこととうかがえる。

この結果、実質公債費比率は19・6%となり1.6%下がり財政健全を表す18%に近づいてきた。ただ、昨年の豪雪や秋の台風12号により、多くの災害が発生し、その復旧工事が行われています。

また高齢化に伴い、今後医療・福祉の経費が増加すると予想されます。歳入においても、交付税等不安定な要素もあり引き続き行財政改革を進める必要があります。

県の総合事務所の見直しにより、日野総合事務所が存続が危惧されるがサービスの低下にならない

いよつ県民目線で見直しされるよう県に要望されたい。

現在、国政は混沌とした状態にあり、その動向を十分把握し、今後の財政運営に当たられたい。

総務課

①平成23年度の報酬は、財政健全化と雪崩事故に対する責任を考慮し、町長以下議員も含め大幅なカットを行った。

②投票所の見直しが行われ現在13投票区となっているが、その結果について、十分検証し今後に活かしていただきたい。

企画政策課

①「まちづくり町民会議」は、平成22年度は1回も開かれず平成23年に1度開催しただけであり、又その目的がはっきりしないなど機能していない。今後その目的や名称などを再考されたい。

②光ケーブルが整備され、IP電話やインターネット

トがサービスされている。今後、そのメリットを生かすような色々な角度から研究されたい。

③「にこにこ事業」について、平成24年度で終了予定となっている。其々の事業を吟味しその結果を町政に活かすよう検討されたい。

町民生活課

①町営バスは、スタート当時に通学時に合わせた乗車人数を考慮し、バスを購入している。少子化が進むなか、今後、バスの購入にあたっては、大型のバスが必要か検討されたい。又、下安井に向かうバスが、帰りには乗車できない状態となっている。各運行会社と協議し、町民の利便を図られたい。

建設課

①集合浄化槽は杉谷を最後に終了となるが、今後、約45%の普及となっている個別合併処理層の設置

普及に努力されたい。

農林課

①指摘し続けた奥大山ブランドの確立に努められたい。

来年の全国植樹祭に向けて駐車場や進入路など万全の準備を願いたい。

産業振興課

①農林課と協力し、奥大山ブランドの確立に努められたい。

②笠原ファームは平成5年に建設され、ログハウスとしては耐用年数が来ている。今後、どうするか根



笠原ファーム

本的に見直して頂きたい。
 ③地元商工業者は、少子高齢化や経済情勢の悪化などで、衰退が見受けられる。

商工業を住民の生活基盤の一つと捉え、地元の利用を促進するよう、プレミアム商品券の発行など色々な施策をお願いたい。又、融資が利用しやすいようマル経など制度を研究されたい。

教育委員会

①中学校の建設に当たり、生徒、職員、保護者が学校を誇れるような施設になるよう努力願いたい。
 ②近年の異常気象により、夏には異常な暑さが続いた。熱中症が発生するなど注意が必要である。今後、教室にエアコンの設置など検討して頂きたい。
 ③学校給食の会計については、公会計に移管する方向で努力されたい。

特別会計

住宅新築資金等貸付事業特別会計

未納者の対応は努力されているが、毎月定期的に入れていただくように一層の努力をされたい。

索道事業特別会計

特に若者を対象としたホームページの活用を大いに取り入れて欲しい。近年のスキーヤーの減少に対する対策を考えられたい。



奥大山スキー場

団体割引、中学生以下は5回まで無料等(リフト券、レンタル券)検討し、町内客を増やす対策も検討してほしい。

簡易水道事業特別会計

過去13年間見直しをしていなかった公共料金を平成19年に見直し、平成24年度に再度見直しをされる予定だが、公共料金委員会です十分検討していただきたい。
 大河原地区の災害復旧については、早急に工事を完成されたい。

国民健康保険特別会計(事業勘定)

平成27年度から国保広域化方針に基づき、従来の市町村国保から県下一本化の国保となる方向で検討されている。このことにより今後、本町の国保にどのような影響があるのか検討されたい。

国民健康保険特別会計(施設勘定)

医師2名体制を早急に検討されたい。

介護保険事業特別会計(保険事業勘定)

平成12年より開始されたが、家族の負担が軽減された。高齢化が進み、県下で4番目の高齢化率である本町では、介護認定者280人中、施設入所者は80名という状況にあり、介護老人福祉施設(チロルの里)では、100名位が待機状態であるが、町内を優先にお願いしたい。

また入所者の虐待防止については調査し、引きつぎ防止に向けて施設に指導をしていただきたい。

農業集落排水事業特別会計

下水の集合処理は、杉

谷地区で全集落完了となるが、個別合併処理浄化槽の普及促進に努められたい。
 川筋、俣野、下蚊屋、助沢は、10年以上経て施設の老朽化も進む中、川筋地区の公共下水と一体化する計画を検討されたい。



美用小原集落排水処理場

西部議長会行政調査報告

平成24年8月28日(火)～30日(木)

日野尾 優

池田町について 福井県今立郡池田町

調査目的

有機農業による「生産・加工・直販事業の取組み」調査のため。

概要

池田町は岐阜県との県境に位置する人口3,234人、世帯数1,059戸、年々人口減少が続いている。高齢化率38.9%。農林業が中心で、特別豪雪、過疎指定、特定農山村指定の農山村、町にコンビニはなく、信号機も2カ所だけの過疎の町。

取組み事業

住民が、日常の生活の中で、自分たちの役割と目標を定め、「環境理想郷」づくりを目指し、その一つとして「食Uターン事業」では、家庭から出る生ゴミを牛ふんに混ぜて堆肥にし、その栄養素が新しい作物を育み、再び食材となる資源環境

型社会を作る取り組みを行っている。

また、その堆肥を使って育てた野菜を、福井市内のアンテナショップ

(直販)で販売しています。消費者に信頼される、農薬や化学肥料を使わない、「ゆづき・げんき・正直農業」という独自の農産物認証制度がある。

家庭から出た生ゴミをボランティア団体「環境Uフレックス」が、この回収事業を支えている。

堆肥製造施設で回収した生ゴミを粉碎し、牛ふんと、もみ殻を混ぜ、発酵している。堆肥の名前は、「土魂壤(どこんじょう)」。土に魂を入れるとのこと。かつて、日本では「あたりまえ」だった、豊かな土、美しい水、澄んだ空気の大自然の中で、安心・安全な作物が作られている。

南砺市について 富山県南砺市

調査目的

市民が主体となったまちづくりを進めている「協働のまちづくり事業」調査のため。

概要

南砺市は、富山県の南西端に位置し、南部に隣接し岐阜県飛騨市や白川村がある。平成16年11月に8つの町村が合併し、市制を施行。人口54,724人、世帯数16,930戸、高齢化率31.1%。平野部はアルミウム、建築建材、工作機械等を中心とした製造業、山間部は建築業、観光産業などサービス業の就業割合が高い。世界遺産に登録された合掌造り集落や民謡の宝庫である。

取組み事業

「市民と行政の協働のまちづくり」について市民と行政が強い信頼と理解のもとに、対等の立場

で、補完、協力しあい、共通の目的(地域課題や社会的課題の解決)に向

って、知恵を出し合い、役割分担を決めて、それぞれの責任において取組むことを基本としている。まちづくり基本条例を制定、本年7月1日から施行。

「地域づくり談議」タウンミーティングを市内31自治振興会単位で年1回のペースで開催。市民協働課(協働のまちづくり支援センター)新設、場所は市内ショッピングセンターに開設、土日・平日とも午前10時～午後9時まで開

庁。補助事業として、頑張る振興会応援プログラム、協働のまちづくりモデル事業、集落支援員、市政出前講座、若手地域づくりリーダー養成塾、婚活事

業等を積極的に取組んでいる。

また、自治会・町内会・自治振興会の要望の流れについて、対応状況について、どこまでできたか(市民要望)冊子を発行している。

考察

地方分権、地方主権が叫ばれている中、各地で特徴ある政策に取組んでいる。まちづくり基本条例制定、ゴミ処理対応等執行部と議会が切磋琢磨して英知を結集し、自立のまちづくりに取り組む必要がある。



一般質問

町政ここを問う

一般質問は2人の議員が行い、町長の方針をただした



三輪 英男

行財政改革と
まちづくりは

問	答
行財政改革とまちづくりは	財政改善で住みよいまちづくりを

質問 ①町政についておたずねします。今後の財政運営にかかわる、公債費負担適正化計画で改善はみられるか伺う。

②公共上下水道事業等の利用料金見直し委員会の状況はどうなっているか伺う。

③合併槽・下水道の水洗化率を高められたい。

④今後の財政運営状況で中学校移転に伴い、跡地の有効活用を町民に理解を得られる方向性を示して頂きたい。

町長答弁

①実質公債費比率については、適正化計画により平成27年度には18%を下回る計画に基づき行政運営を行っており、今年度の推計では更に改善が見込まれます。

財政運営については、改善しています。

②行財政改革の一貫として、平成19年公共料金見直し委員会を設置、今年度が上下水道料金の見直しを行う予定です。

③水洗化率90.4%、世帯80.1%、人口では2,846人で83.6%で県内では高水準となっております。

④中学校建設につ

いては、「江府中学校建設準備検討委員会」で検討いただいているところです。

今後のスケジュールや内容については、特別委員会で説明を行いますので、ご検討をお願い致します。



江府中学校

問	答
少子化対策と集落展望は	「自助」「協助」「公助」のバランすでまちづくりを

質問

①第4次江府町総合計画後期分第3節に地域の活性化という項目がありますが、少子高齢化の現状における集落展望について町長の所見を伺う。

②少子高齢化が進み農業も担い手不足など、集落の将来が危惧されます。地域コミュニティの再構築について、町長の所見を伺う。

③地域協力隊は、鳥取県智頭町で公募されていると伺っています。江府町において、導入検討の余地は無いものか町長の所見を伺う。

町長答弁

①少子高齢化の現状における集落の将来展望は、高齢化率40%を直視しなければなりません。集落という地縁のコミュニティを今後しっかりと維持していく事が重要なポイントと考えております。

②地域コミュニティは自助・地域で助け合う協助・公的支援の公助のバランスが大切です。地域コミュニティの根幹・主体であります共助の部分を維持していかなければなりません。

集落支援として、健康・福祉を中心とした集落と地域の支援事業として、いどばグループ支援事業、江府町しあわせまちづくり事業を行っています。各事業を通じて、地域の再生に取り組んでいきます。

③江府町の場合公助という部分が先行していた時代が長かったと思います。自助・自分たちで積極的に集落なり地域を考えていく必要があると思います。

早稲田大学の学生達がこの度吉原集落と交流をして、あり方を提言してくれました。広域的に連携して江府町から若い人たちが住んで通勤出来るよう環境整備を図って行きます。

日野総合事務所体制の見直しについて 商工業の振興と商工会組織の運営について



川端 雄勇

問	答
現行の体制がベストだと思いが	住民サービスの低下にならないように強く訴える

質問 県は現在5ヶ所に設置している総合事務所を再編し県下3圏域（東部・中部・西部）体制に統合し集約することを明らかにしました。日野総合事務所は解消し地域の実情にに応じて必要な機能のみを残すという素案が示されました。郡民の声や地元の実情を考慮せず一方的に行革視点だけの見直し案であり住民サービスの低下、町村への負担増は火を見るよりもあきらかであります。平井知事も今回の見直しにつ

いて視点は住民に置くべきとはつきりと認識を示しています。従いまして日野地域の活性化、住民の利便性安心安全な暮らしを守る為の危機管理対応、高齢福祉対策、中山間地域の農業振興などを考えた場合、日野総合事務所は現行のまま残すのが住民の視点に合った一番の方法だと思えますが町長の所見を伺う。

町長答弁

時代時代におきまして行財政運営の中で組織の見直し、検討を行うという事は理解できますが、素案を作る段階で地元町村の意見や状況把握をせずに素案が示されたことに対し不満を持っているところがあります。今私

が強く訴えていますのは財源と権限を日野にも与えていただきたい、その上で見直しの必要があるところについては見直しの検討に入るべきではないかと考えています。この度の見直しは住民サービスの低下や町村負担の増大にならないように県に強く要望したいと考えています。

問	答
小口融資制度の見直しは	マル経融資制度等での対応

質問 小規模事業者への町独自の小口融資制度があります。平成22年、23年と利用件数が0でありました。小規模事業者が利用しやすい融資制度に改める必要があると思えますが町長の所見を伺う。

町長答弁

小口融資制度ではありませんが、制度を設けても利

用いたただかなければ何なりませんので日本政策金融公庫のマル経融資等もありますのでこれらの見直しは早急に対応したいと思えます。

問	答
やんばの起る振興補助制度は	補助事業の対応を考えると

質問 他町ではやる気のあるチャレンジ意欲のある商工業者に対していろいろと支援策を行っておりますが本町では金融融資事業以外の支援事業はありません。若手後継者や地域経済の活性化に繋がる支援制度が必要と思うが町長の所見を伺う。

町長答弁

従来は小口融資以外には補助制度はなかったわけですが、地域活性化を図って行く上でも補助事業など商工業者への支援を考えると必要があると思っております。

問	答
単町商工会としての維持・運営について	商工会運営補助の見直しを検討する

質問 県下で一番小さい商工会の単独での維持・運営は非常に厳しいものがあります。町から商工会への一般補助金は平成10年の160万円から半額の80万円まで削減になっております。小さくても地域経済の担い手として頑張っている商工会への補助の見直しをする必要があると思えますが町長の所見を伺う。

町長答弁

商工会の運営でありませんが会員の皆様も自助努力で年会費を前年対比50%アップして頑張っていることでもありますので商工会運営補助の見直しを検討したいと思えます。

西部町村議会議長会
自治功労者表彰
(在職11年以上)



日野尾 優議員

平成24年10月5日、日野尾 優議員が西部町村議会議長会において自治功労賞を受賞されました。なお一層のご活躍をお願い致します。

竹内敏朗町長
3期目の活躍を!



竹内 敏朗町長

「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」に向け、行動していく町政を目指してまいります。

江府町議会
補欠選挙



三輪 英男議員

平成24年7月22日補欠選挙で三輪英男氏が当選された。江府町のまちづくりにご活躍を期待します。

庁舎等特別委員会
(江府中学校建設)

9月19日特別委員会を開催され、江府中学校建設について審議した。
基本理念
校訓を活かした学習施設の建設。
基本方針
木材を多用し、太陽光発電等設置し環境に配慮する、各部屋を多目的に利用出来る校舎。

企業誘致特別委員会
(サントリープロダクツ(株) (株)サンエス)

9月19日企業誘致特別委員会を開催し、誘致企業であるサントリープロダクツと(株)サンエスの報告について審議した。

予算措置
校舎・プール設計委託料・ボーリング調査5,561,8千円
土砂災害対策
現地は、土砂災害警戒区域に位置しているため、県が調査を行うが、災害防止対策を講じる事。

サントリー
平成12年市場見込み215万ケース
10年比121%見込み
◎第9・10井戸の増設を計画している。
◎今後の市場動向を見ながら工場増設・増産について検討していく。

今後の日程
平成25年度建設費計上
平成25年5月着工
平成26年3月竣工
平成26年4月始業式

サンエス
◎10月26日竣工式
◎3年後を目標にフル操業
◎3年後には10名体制へ
◎将来2交代制を考えている。

政治倫理審査会報告書

江府町倫理審査会から江府町議会議員の政治倫理に関する調査結果が議長に提出された。

1. 調査結果
平成24年7月3日議長から政治倫理審査会に調査請求のあった案件について平成24年7月3日、12日に政治倫理審査会を開催し調査した。
調査の結果、平成24年4月27日議会事務局で宇田川潔議員の議長に対する暴言は事実であると判断する。議会議員は公職であり、365日町民の代弁者として品位と名譽を損なう事の無いよう努めなければならない。このような行為は著しく江府町及び江府町議会の品位を落とす行為である。過疎高齢化の町、江府町の山積する政策課題について真摯に議論されたい。

江府町議会議員

政治倫理条例の一部改正

改正後 《調査請求権》
第六条 町民又は議員は、次の各号に掲げる事由があるときは、これを証する資料をそえて、町民にあつては地方自治法第74条5項に規定する選挙権を有する者の総数の100分の1以上の者の連署、議員にあつては議員定数5分1以上の連署をもつて、議長に調査請求することができる。

陳情の審査結果

件名	提出者	審議結果
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳	採 択
北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める陳情	自由民主党鳥取県支部連合会 政調会長 野田 修	採 択
地方財源の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部・江府町職労組合 執行委員長・本川 博孝・末次 義晃	採 択
香港民間団体による領海進入及び尖閣諸島不法上陸に関する陳情	自由民主党鳥取県支部連合会 政調会長 野田 修	採 択
李明博韓国大統領の言動に抗議し政府に対し韓国外交の見直しを求める陳情	自由民主党鳥取県支部連合会 政調会長 野田 修	採 択

◎江府町老人福祉センターが多目的施設となった。

条例の一部改正



前田 恵子さん



清水 弘美さん

教育委員任命

9月30日教育委員の任期が満了につき、清水弘美さんは再任・前田恵子さんが新任されました。江府町教育の発展にご尽力をお願いします。

平成23年度日野病院組合決算

収 益		費 用	
医業収益(介護)	12,417千円	医業費用	14,625千円
医業外収益	3,884千円	医業外費用	383千円
計	16,301千円	計	15,008千円
決算額		129,287	

平成23年度 日野病院事業 決算報告

病院事業については、外来患者数・入院患者数共に減少したが、診療単価の増により入院収益は前年より増加し、医業収益は増加した。
主な指摘事項
◎医師及び看護師の増員・確保。
◎外来患者減少対策に努力。
◎病院と老健の連携強化に取り組む。

各町負担金

	し尿処理分	ごみ処理分
日野町	24,785千円	61,769千円
江府町	26,542千円	58,734千円
日南町	38,343千円	-
合計	89,670千円	120,503千円

平成23年度日野町江府町日南町 衛生施設組合議会報告

し尿処理施設整備の経過
し尿処理施設整備計画は、昨年度基本構想を策定し、水処理方式については、膜分離高負荷脱窒素処理方式を採用する方針です。汚泥処理方式についても、補助対象となる様検討を重ねていきます。現在は「生活排水処理基本計画」を策定中で、来年度当初に補助申請の予定です。
「ごみ」処理施設修繕は 大規模修繕工事については、今年度「修繕基本設計作成業務」を発注し、来年度修繕に向けて進めています。供用開始から15年が経過し、老朽化が激しく、大規模改修費は3億数千円程度必要と思われる。西部圏域での集約化が予想されており、平成33年度末までは大規模修繕を実施して、延命化を図っていきます。

ひとこと

子育てに 温かい地域

貝田 谷田 育子

私が家族と江府町に越
 してきて二年半が過ぎま
 した。夫と四人の子ども
 (小二、年長、三歳の双
 子)の六人でにぎやかに
 転居してきましたが、夫
 の実家をはじめ、地域の
 皆さんに温かく迎え入れ
 ていただきました。子ども
 たちもあつという間に
 同級生と仲良くなり、今
 も毎日楽しく小学校、保
 育園に通っています。本
 当にありがたいことです。
 江府町で生活していて
 思うのは、「子育てに温
 かい地域だなあ」という
 ことです。当時六カ月だ
 った双子へ町から「奥大
 山の水」をたくさんいた



だいたり、細やかな乳幼
 児健診や未就園の子ども
 と母親への支援活動をし
 ていただいたりしました。
 また、保育園、小学校で
 の温かくておいしい給食
 や小学校の放課後子ども
 教室、夏休み子ども教室
 など、様々な支援をいた
 だいています。それだけ
 でなく、地域の方々には
 いつも子どもたちに優し
 く声をかけていただき、
 たくさんの人に支えられ
 見守られて子どもたちが
 元気に成長していつてい
 るのを感じます。
 そして、何より家族の
 サポート。私や夫が安心
 して働けるのは家族のお
 かげだと感謝しています。
 両親が育てたおいしいお
 米と新鮮な野菜をいただ
 きながら、忙しくも楽し
 い毎日を過ごしている私
 です。

「これまでの 集大成！ そして…」



池の内 須藤 哲也

「僕、同級生三人の内男子
 一人、家に帰って三人
 兄弟で男一人。」「大丈夫
 かな?」と思ひ、それで
 始めたソフトテニス。
 小五の時、初めての全
 国大会で、これまた三位に
 なり、これを半年という時
 肩を壊して半年という時
 ケットを振れませんでした。
 テニスが好きだから!僕は
 と云って練習に行きラン
 ニングや球拾いをしてい
 ました。
 江府町に入ってから、
 打つと肩が壊れるかも?と
 う恐怖心と闘いながら
 も、先生の熱心な指導や
 仲間の励ましもあり、二
 年生の時、テニス部一丸
 となつて団体「全中三
 位」をとることができま
 した。
 三年になり、今年こそ
 は優勝という思いで臨ん
 だ全中でしたが、惜しくも
 三位でした。ただ、こんな
 田舎の小さな中学校でも

自分たちが頑張れば全国
 で三位になれるという自
 信を持てたと思います。
 その後、鳥取県代表と
 して国体に出場した時の
 試合を、以前遠征でお世
 話になった奈良県の高田
 商業の選手や監督が見て
 いて試合終了後にたくさ
 ん声をかけて貰っていま
 した。その事がきっかけ
 となり、その後「高田商
 業」に来るようになった。
 縁があり、息子に「高田
 商業」に行きたい!と。
 高田商業に入社し、ソ
 フトテニス部の仲間を見
 ると、地元であれば県で
 トップの子ばかりで、「大
 丈夫かな?」こんな中でや
 思いました。厳しい練習
 風景を見ていて、ここに
 いる子供たちみんな同じ
 思いでこの学校に来てい
 るんだなあと思つたら
 「がんばれよ!」としか
 言つてやれませんでした。
 高校生活最後の今年、
 何とか個人でも団体がで
 きました。
 今まで指導してくださ
 ったコーチ・先生・保護
 者の皆さん・共に戦つた
 仲間の皆さん。ここまで来
 りました。ありがとうございます。
 テニスを通して、多く
 の人との出会い・勝ち負
 けを超えた友情・仲間と
 の絆、多くの事を学んだ
 と思います。
 これからも大学・社会
 人とソフトテニスを続け
 て行くと思ひますので、
 テニス馬鹿の息子を応援
 してやつて下さい。



暑い7月の選挙で3期目
 を無投票当選した竹内町長
 「キラリと光るまちづくり」
 を表明する9月定例議会で
 幕を開けました。

補欠選挙で三輪英男氏が
 当選され、約3年間の空席
 を充たし全員出席で議会が
 開催された事は、残任期1
 年弱ですが、活気のあるま
 ちづくりの弾みがつきます。
 財政も厳しいですが、財
 政推計も良くなっています。
 今一度引き締めて、将来に
 備えなければいけません。
 実りの秋を迎え、今年の
 収穫に感謝して、又来年に
 思いを馳せていきます。
 川上富夫

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 川上 富夫
 - 副委員長 森田 智
 - 委員 川端 雄勇
 - 委員 田中 幹啓
 - 委員 日野尾 優

